

全学連大会へ!

2011年8月15日

1

Tel 050-3036-6464

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(織田陽介委員長)書記局通信

ヒロシマ闘争の成功引き継ぎ、 9・9～10全学連大会に大結集を!

【1】フクシマとヒロシマの怒りが一つに! 8・5～8・7ヒロシマ闘争報告

8・6ドーム前集会での全学連織田委員長の発言

この後のデモでは、祈念式典に参加している人もみんな巻き込んで今日の世界大会を成功させたい。

昨日、「すべての原発今すぐなくそう! 全国会議(NAZEN)」の結成をかちとることができた。呼びかけ人の一人である三里塚反対同盟の所有する天神峰現闘本部に対し、今日の朝4時、強制執行が始まった。これが示すことは、赤字で必要もない空港が戦争のために活用されているということだ。機動隊を導入して、農民から無理やり土地を奪って軍事空港を作る。これを8月6日にやるとは一体何なのか。これが今菅政権のやっていることではないか。こんな奴が今ここにきている。

しかし8月6日広島に注目が集中している日にやらざるをえないというところに彼らの弱さがあると確信した。三里塚農民と心ひとつに今日は闘いをやりたい。

今年のヒロシマ・ナガサキは、去年までと同じではない。怒りを爆発させなければならない。今福島で起きていることは何か。「ノーモア・ヒロシマ」と言ってきたことが繰り返されているではないか。政府によって子供たちが今も被曝させられてるではないか。それに触れない祈念式典とは何か。フクシマを守れないヒロシマとは一体何な

集会後、ヒロシマ大行動の会場に向けデモ



のか。今年のヒロシマは怒りで菅が叩きだされるような広島じゃなかったらおかしい。

今日から本当に新しい運動を始めよう。去年原水禁や平和祈念式典は何をやっていたか。オバマと一緒に核をなくそうと言っていた。その後オバマは公表されただけでも2回も核実験をやった。その前は原水禁は何を言っていたか。「北朝鮮の核は危ないんだ」そう言ってヒロシマを戦争の道具にしようとしていた。福島第一原発事故が起きたら今度は何か。原発については何も触れない。この運動の先に原発と核の廃絶はない。本当に新しい運動をここからつくらなければならない。そして新しい運動を作るには若者が立ちあがる以外ない。

8・7集会での京大生の発言

京都大学の学生はクラス討論をやってきた。「原発を必要とするこの世の中とは一体何なのか」と訴えて、クラスで討論を巻き起こしてきた。もちろん最初は反発される。しかし決起が始まっている。

「電力足りるのか」「そもそも社会に犠牲は付きもんなんじゃないか」クラスでは様々な意見が出る。しかしこれらは資本の側からの攻撃だ。それに対して僕達は、クラスから、本当に許せないと訴えて活動してきた。



8月6日、原爆ドーム前で渾身の訴えを行う織田全学連委員長



斎藤法大文化連盟委員長による基調報告

最終的になるのは学生自治会は本当に社会に対して責任をとれるのかということ。結局は反対して、反対しただけで終わってしまいうんじゃないかと。学生が大学の決定権に対して声をあげるとは結局一過性のものとして終わってしまいうんじゃないか。そういう不安が出てきている。

僕達はクラスの意見をまとめて申し入れ書という形で大学当局に対して抗議の声明を出した。京都大学は関西電力が経営協議会に入っている。「電力は経済のために必要だから仕方ないんだ」「電力不足なんだ」ということをいう。でもその根拠は一切ない。私たちが追求すると、節電の根拠はないということを当局の口から明らかにした。

大学当局は本当に無責任だ。学生がこれだけ声をあげているにもかかわらず、まったくそれに対して答えない。学生自治会は本当に責任をとれるんだと確信している。全学連大会にむけ、クラス討論の中のから必ず一人の決起を生み出す。クラスの中から決起するということは本当に大きなこと。クラスの中で討論を生み出して、その中で自治委員という形で一人が決起する。それが本当の学生運動だ。

広大一年生の発言

この3日間、NAZENの結成やデモは原発をなくすためにいいものになったと思う。原発を止めるために全学連大会にも参加したい。危険なものに首を突っ込んでいるような気もしますが(笑)学生の団結を壊していく社会や非正規とか派遣とかで労働者を人間として扱わない社会の方が危険だと思います。

織田委員長のまとめ

今次ヒロシマ闘争で私たちが掴んだ可能性をしっかりと掴むことが重要だ。

原発事故が起きた後、全世界に向かって「核をなくすための世界大会をやる」と訴えて今回実際にできた。僕ら以外にそんなことはできなかった。原水禁が何を言っていたのか。祈念式典でどんなことが訴えられたのか。反原発の「八」の字もないという状況の中で、僕らが自分たちの力で世界大会を実現したというのは本当に大きなことだと思う。

何かが変わり始めている。みんなの思いが一つに結集し、こういう集会が実現し始めている。

呼びかけ人の一人である大石さんと話をした。大石さんがビキニで被曝した時20歳だった。ビキニ事件が起きた時、全国で2300万筆、全世界で6億の署名が集まり大デモになる。デモのとき乗組員の人はどんなことをしていたんですかと聞いた。そしたら「差別されると思って隠れてた」「自分は知識がないから放射能は移ると思ってた」と。そのあと声をあげたのは15年後。ではなぜ15年後に声をあげたのか。理由は「どうしても納得できなかったから。ゆるせなかったから」。同じ乗組員がだんだん死んでいくのを見て、やっぱり声をあげなきゃいけないと思ってたちあがった。今反原発で声をあげている人の思いが本当にここにある。こういう思いを結集して今回のヒロシマ世界大会を僕らが実現できた。すごい闘いをやった。

一人でも二人でも動き出せば変わる。今度全学連はドイツに行く。シンディー・シーハンさんを獲得して、ドイツにいて、11月6日僕らの力で1千万行動を行う。これが時代の核心だ。今回のヒロシマで僕らが切り開いてきた可能性は小さくない。

みんな同じ壁ぶち当たっている。就職はどうするのか、あるいは広大では職員がデモに監視に来ている。この現状をどうするのか。

みんなの湧き上がる思いをひとつにさせるために具体的に、自分のキャンパスにいる友達と向き合って議論する以外にない。そこから絶対に逃げない。僕らがやるしかない。学生が、青年労働者が立ちあがる以外にない。この中にしか可能性はない。だから僕らはどこまでいってもここにかける以外にない。

新自由主義というあり方を問題にしなければいけない時が来ている。現実には起きていることは大変なことだ。しかしこれは自然に起きたことじゃない。人為的に作りだされたものだ。逆に言えばこれと闘う以外にない。

大学の中で鬱積してきた思いがある。これを見逃してはならない。法人化されてきた後の大学は一体どうなってきたのか。根本的に全部ひっくり返さなければならぬところまで来ている。だから僕らは絶対にこの思いを軽視しない。国立大学法人化の中で積み上げられてきた矛盾、教育の民営化の中で積み上げられてきた矛盾、これを僕らが本当につかまえられるかどうかだ。そこに本当にかかっている。原発という問題と新自由主義の問題をもっともっと一



ヒロシマ大行動の解散地点で団結ガンバロー
この日1100人がデモを行った。

つにして、僕らがつかまえることができればそこに非常に展望がある。

もう一つ大事なことは、新自由主義は打ち破ることができるということだ。法政大学は打ち破ってきた。普通の学生が退学処分になりながら闘ってきた。その力は特別なものではない。普通の学生がそういう力をもっているんだということをはっきりさせてきたのが法政大の歴史だ。新自由主義を打ち破ることはできるんだということを僕らは真剣に訴えて、全学連大会に進んで行きたい。

全学連大会に向けての最大の焦点は、学生自治会をつくらうという内容だ。7月8日に東北大学の学生自治会はその力の一端を示してくれた。僕らの生きてきた社会はストライキもデモもなかった。これが新自由主義と呼ばれる社会だ。その社会に生きてきた若者の価値観が膨大な規模で変わっている。ここにすべての可能性が詰まっている。

学生が大学で組織をつくる。学生が学生として団結する。学生の力で原発をなくす。学生の力でこの社会を変える。全学連大会から全国・全世界の学生に宣言する。歴史的な大会にする。新しい執行部が先頭になって宣言する。

最大の核心は11月集会。全世界1千万人行動。僕達しか言っていない。しかし僕達ならつくれる。そういう時代が来た。1千万人行動をつくり上げられる時代に来た。韓国にも、ブラジルにも、アメリカにも仲間がいる。世界に向けて僕らが訴えて1千万人行動をやる。核心はこの力の中で日本で闘いをつくることにある。日比谷で新しい運動をはじめる1万人の仲間を集める。これが僕らの核心だ。だから僕らは11月集会に向けてここから本当に新しい運動をここからつくる。

【2】残り3週間、全学連大会へ全力の組織戦を！

(1) 残り3週間全力の組織戦を！

* 「原発反対」の広範な怒りとともに、各大学ごとの決起論を練り上げよう。クラス・サークル・ゼミなど集団的な決起を追求しよう。

(2) この秋の決戦スケジュール

- * 8・8～20 訪独闘争
- * 8・30 「JRの偽装請負を告発する大集会」
- * 9・11 全国統一反原発行動
- * 9・19 反原発5万人集会
- * 10・9 三里塚総決起集会
- * 11・6 労働者集会

全学連大会要項

【日時】 9月9日(金)～10日(土)

【会場】 1日目 文京区民センター
(東京都文京区本郷4-15-14)
2日目 浜町区民館
(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

【参加費】 1000円(会場費、資料代など)
宿泊費は除く

【連絡先】 TEL 050-3036-6464
メール mail_cn001@zengakuren.jp

速報! 全学連が原発を止めたドイツへ!



10日、ドイツの仲間と廃炉になった原発を見学



10日の夜の学生集会の様子